

## だい か どれい そう 第3課 奴隸になったヨセフ(創39:1-6)

いっぽう 一方、ヨセフはエジプトへ連れて行かれた。ファラオの廷臣で侍従長のポティファルといふひとりのエジプト人が、ヨセフを連れ下ったイシュマエル人の手からヨセフを買い取った。しゆ 主がヨセフとともににおられたので、彼は成功する者となり、そのエジプト人の主人の家に住んだ。彼の主人は、主が彼とともにおられ、主が彼のすることすべてを彼に成功させてくださるのを見た。(1-3)

せんしゅう 先週のメッセージを通してヨセフの夢の話は、自分が夢見ている夢を成し遂げるために とお はなし ゆめ はなし じぶん ゆめみ ゆめ な と かんきょう くなん なか さいご た ゆめ かなら な た うのではなく、彼の父ヤコブが受けた祝福の内容がヨセフの人生で成し遂げられることを かんせい な と え しめ 絵として示すことでした。そのように神様の契約を受けた者たちは、その契約の子孫である イエス・キリストの犠牲によって、必ずその契約の完成地点に入ることを示しているのです。ヤコブ、すなわちイスラエルは契約を受けた私たちすべての聖徒の代表として立っており、ヨセフはその契約を成し遂げるイエス・キリストの模型として立っています。ヨセフがイエス・キリストを象徴していることを聖書を通して確認してみましょう。

ぞうせいき 創世記37:3節を見ると、ヨセフは腕を覆う長服を着ていますが、この服は長子権を持つ み うで おお ながふく き ふく ちょうしけん も ちようなん き ふく さ ぱんめ むすこ ちようし ふく き 長男が着る服を指します。ヨセフはヤコブの11番目の息子ですが、なぜ長子の服を着ていたのでしょうか。I歴代5章では、長子の権利がヨセフにあることを記録しています。

### れきだい I歴代5:1-2

- 1 イスラエルの長子ルベンの子孫。ルベンは長子であったが、父の寝床を汚したことにより、その長子の権利はイスラエルの子ヨセフの子に与えられた。それで、彼は系図には長子の権利を持つ者として記載されていない。
- 2 ユダは彼の兄弟たちの間で勢いを増し、君たる者もそこから出たが、長子の権利はヨセフのものとなった。

かみさま まこと ちょうし このようにヨセフは神様の真の長子であるイエス・キリストの模型として登場しているのです。

ぞうせいき 創世記37:2節を見ると、ヨセフが兄弟たちの悪いうわさを父に告げたと言われています。それはこの地に来られ、罪人たちの罪を指摘し、「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」とおっしゃった天の御国の中の長子イエス様の姿を象徴的に見せることです。イエス様に自分たちの罪が指摘されたユダヤ人たちによって、イエス様は銀貨30枚で売られ、苦しみを受け(受難)、十字架で死なれました。ユダヤ人はイエスと肉体的に兄弟です。自分たちの罪を指摘する法的長子ヨセフをねたんで殺そうとしたヨセフの兄弟たちとヨセフの人生は、正確にイエス様の人生を示しているのです。

そのような無邪気な受難を通過したヨセフがエジプトの支配者となり、自分を裏切って売ってしまった兄弟たちを餓死する直前に生かすのです。

### 創世記45:5-8

5 私をここに売ったことで、今、心を痛めたり自分を責めたりしないでください。神はあなたがたより先に私を遣わし、いのちを救うようにしてくださいました。

6 というのは、この二年の間、国中に飢饉が起きていますが、まだあと五年は、耕すことも刈り入れることもないからです。

7 神が私をあなたがたより先にお遣わしになったのは、あなたがたのために残りの者をこの地に残し、また、大いなる救いによって、あなたがたを生き延びさせるためだったのです。

8 ですから、私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、神なのです。神は私を、ファラオには父とし、その全家には主人とし、またエジプト全土の統治者とされました。

これは兄弟たちに売られ、十字架に掛り死なれたイエス・キリストが眞の万物の主として登場し、自分を売った者たちを生かす福音の物語です。創世記の最後の章である50章の終わりの部分を見ると、イエス・キリストの模型であるヨセフが兄弟たちに言う言葉が、結局ヨセフの物語と創世記の結論であり、聖書全体が話す福音です。ヨセフという兄弟たちの主になった一人が自分を裏切った兄弟たちを許すことで終わるのです。

### 創世記50:20-21

20 あなたがたは私に悪を謀りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が生かされるためだったのです。

21 ですから、もう恐れることはありません。私は、あなたがたも、あなたがたの子どもたちも養いましょう。」このように、ヨセフは彼らを安心させ、優しく語りかけた。

最後にピリピ2章6節から11節を読んで終えましょう。

### ピリピ2:6-11

6 キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、

7 ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、

8 自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

9 それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。

10 それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものすべてが膝をかがめ、

11 すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。